

## 学生が犯罪のない安全で安心なまちづくりに向けた啓発活動に参加しました！

10月15日、奥出雲町犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会主催の街頭啓発活動に島根リハビリテーション学院の学生20人が参加しました。

活動に参加したのは、理学療法学科1年生の10人と作業療法学科1年生の10人です。学生は横田蔵市、仁多ショッピングセンターサックスで、買い物客に啓発資材を配布し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを協議会の皆さんと一緒に呼び掛けました。同活動に毎年参加しており、学生たちの安全意識も向上しています。



開始時オリエンテーション



配布の様子



### 学生の声

1年作業療法学科  
沖野 みゆき さん

島根リハビリテーション学院に入学し、現在は奥出雲町民として生活していますが、町民の一員として安全で安心なまちづくりに対する考えが高まりました。今後、町民と一緒に、高齢者や小さい子供にも配慮ができるまちづくりをするために、様々な地域活動に積極的に参加して自分ができることを取り組んでいきたいと思っています。



横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」

## 10月31日にロードレース大会を開催!!

校内ロードレース大会は平成24年度に復活して以降、体力と強い精神力を養うことを目的に毎年開催し、恒例行事となっています。

当日は保護者の方々のボランティアや、多数の地域の方の声援があり、生徒たちもタイムを縮めようと必死に走りました。男子は11.3km、女子は9.1kmのコースをほとんどの生徒が無事完走することができました。



↑全校男子が勢いよくスタート



←女子の部



→男子の部

## 奥出雲町農業委員会だより

### 体制を充実して取り組んでいます

改正農業委員会法が平成28年4月に施行され、農地等の利用の最適化（農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規参入の促進等）が法令必須業務となり、農地利用最適化推進委員（以下、推進委員）が新設されました。奥出雲町農業委員会は、平成29年7月20日から新制度に移行し、農業委員18名、推進委員25名の計43名となりました。



推進委員は、総会での議決権はありませんが、「農地等の利用の最適化の推進」について、意見を述べることができます。当委員会では、毎月の総会に推進委員も全員出席し、各議案の補足説明は地区担当推進委員が行っています。

農地取得、農地転用、農地利用権設定等の手続きが必要となります確認書は、まず地区担当の推進委員へ提出して確認を受けてください。



### 老後の備えに農業者年金に加入しませんか？

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

- ・年間60日以上農業従事
- ・国民年金1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）
- ・20歳以上60歳未満

☆農業者年金の特徴は・・・

- ・積立て方式で安心
- ・加入・脱退も自由
- ・保険料は全額社会保険料控除
- ・保険料はいつでも変更できます（2万円から6万7千円）
- ・農業の担い手（ただし、条件があります）には保険料国庫補助（最大5割）あり
- ・終身年金 80歳までの死亡一時金あり

※農業者年金の内容やご相談については、農業委員会または最寄りのJAにお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 奥出雲町農業委員会事務局 有線：31-5289 電話：54-2514



### ◆◆平成30年度宝くじコミュニティ助成事業◆◆

## コミュニティ活動に必要な備品が整備されました

宝くじコミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源とし、地域のコミュニティの健全な発展を図るためのもので、(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っています。

今年度、助成事業により馬木地区振興会にアルミステージが整備されました。なお、コミュニティ事業には、次の事業があります。

- ①一般コミュニティ助成事業
- ②コミュニティセンター助成事業
- ③地域防災組織育成助成事業
- ④青少年健全育成助成事業
- ⑤地域の芸術環境づくり助成事業
- ⑥地域国際化推進助成事業
- ⑦活力ある地域づくり助成事業



↑整備されたアルミステージ



【お問い合わせ先】 地域づくり推進課 有線：31-5262 電話：54-2524